

令和3年度

小・中学生による

「エコライフチェックシート」集計結果



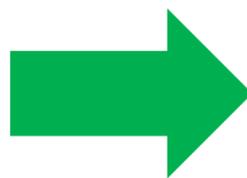
エコライフチェックシートは、毎日の生活の中で自分たちが出している二酸化炭素量を計算し、生活のムダを見直しながら地球温暖化防止につなげる目的で実施しています。平成19年の冬休みから始まり、今回で15回目となりました。

令和3年度も、小牧市内の小学4・5年生、中学1・2年生に協力を依頼して、家族と共に夏休み期間中にエコライフチェックシートを使って自己チェックをしていただきました。結果は下記の通りです。

児童・生徒数		回答数	回答率	チェックできた数 (個)	CO2 削減量 (kg)
小学4・5年生	2,825人	2,396人	84.8%	119,828	8,409
中学1・2年生	2,789人	2,344人	84.0%	106,545	7,323
合計	5,614人	4,740人	84.4%	226,373	15,732

二酸化炭素 削減量

小学生 (2,396人) 8,409 kg
 中学生 (2,344人) 7,323 kg
 合計 (4,740人) 15,732 kg

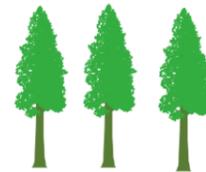
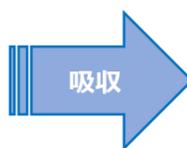


500ml のペットボトルの重さに近い量が削減できたこととなります！
 ※500ml ペットボトルの重さ=約500g



1人1日あたり
 約474gの二酸化炭素を削減
 したことになります！

スギ1本（樹齢80年）が1年間に吸収する二酸化炭素=14 kg



スギ1本（樹齢80年）の吸収率に換算すると **1,124本** になりました

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、昨年度に比べて削減できた二酸化炭素の量は減少しました。

家にいる時間が多かったため、「テレビを見る時間を1時間減らした」や「夏の冷房時の室温は28℃にした」という行動を実行することは難しかったかもしれません。

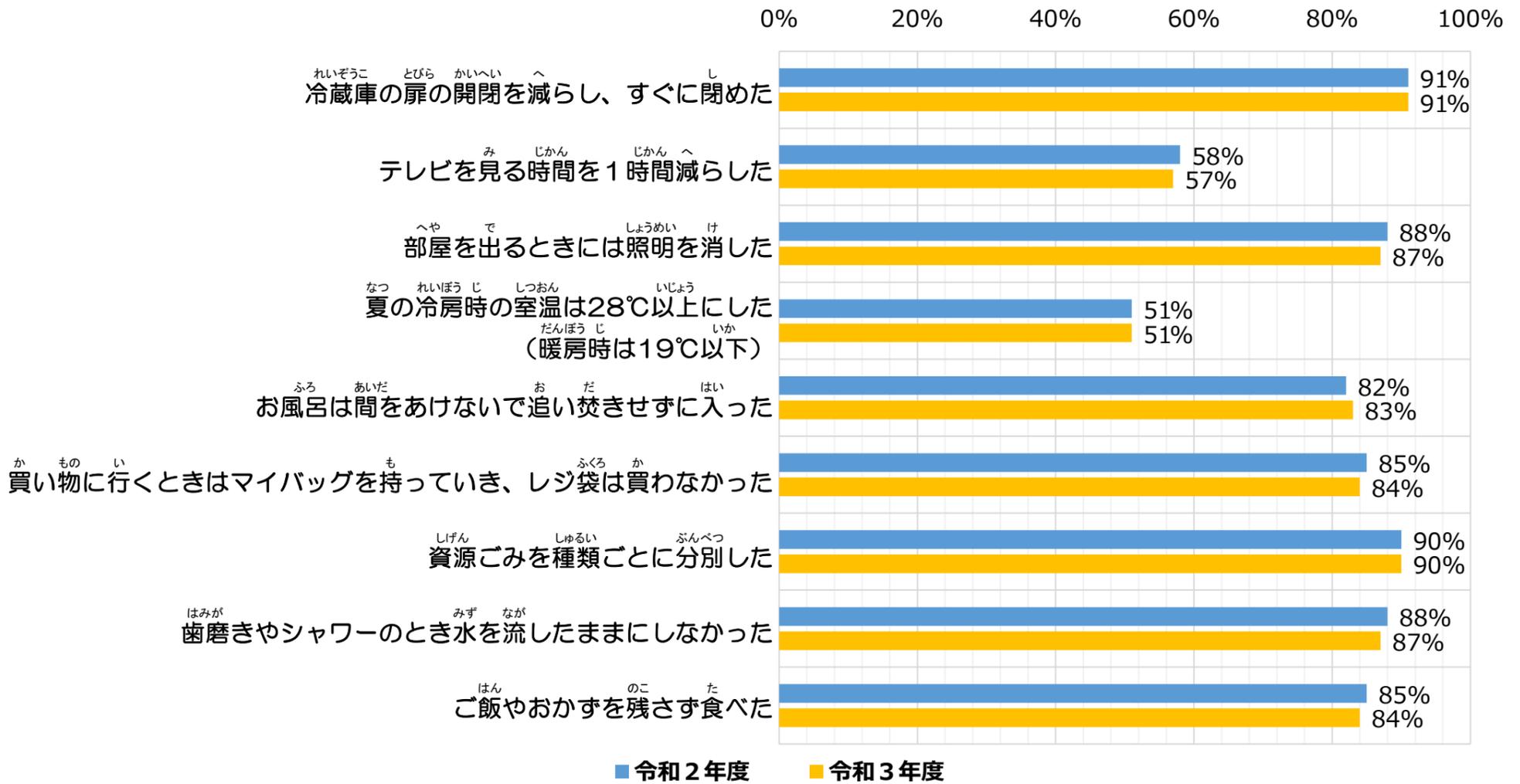
そんな中でも、「このエコライフチェックシートを通して、小さなことでも二酸化炭素の排出量を抑えることができ、地球温暖化対策につながるということがわかった」といったコメントを多くいただきました。

将来の地球のことを考え、このシートがなくても普段から環境に対する意識を持ち、できることをこれからも続けてほしいと思います。



小学生

実行率

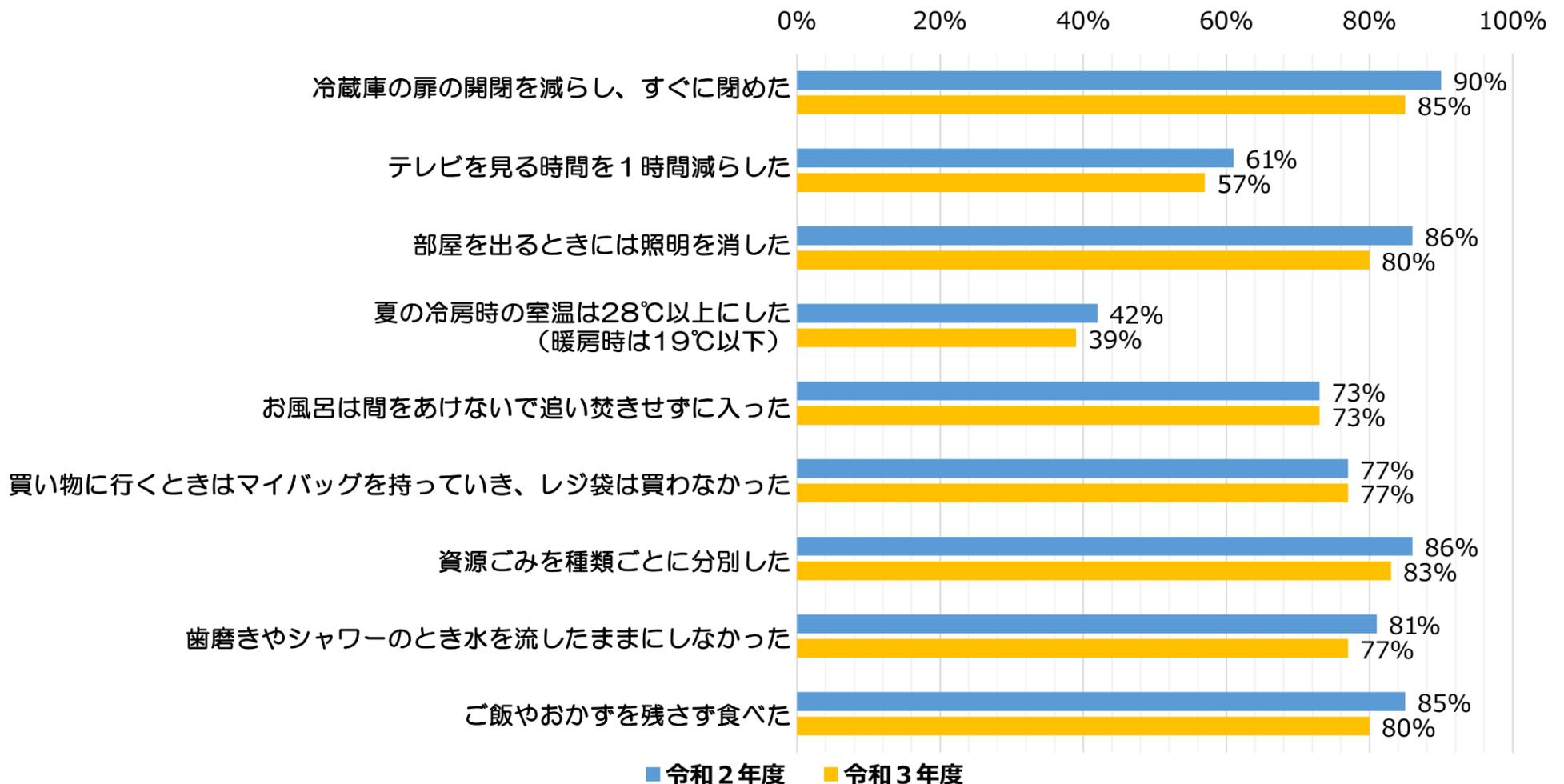


【コメント抜粋】

- ・子どもでも二酸化炭素を減らす協力ができることがわかった。
- ・エコライフチェックシートをやって、今何ができていて何ができていないのかがよく分かったので、やってよかったと思った。

中学生

実行率



【コメント抜粋】

- ・やっていることは小さなことだけれど、積み重ねれば大きな結果につなげることができると思った。
- ・実際に心がけると1日がスッキリ終わったので、続けようと思った。